

2015・広大マスタース市民講座報告

「世界の動きと平和を考える」

岩田 賢司

講義内容:

第1回「中国・ロシアなどの地域大国主義と平和を考える」2016年2月6日(土)

第2回「ヨーロッパの冷戦と平和を考える」2月13日(土)

第3回「朝鮮戦争・ベトナム戦争などのアジア熱戦と平和を考える」2月20日(土)

第4回「ソ連・ロシアの動きと平和を考える」2月27日(土)

会場: 市民文化センター研修室2

時間: 13:30-15:00

受講登録者: 35名



第1回は、初回なので、講座の趣旨について次を述べた。国際政治学やソ連ロシアの政治と外交という講師の専門と、1991年のソ連崩壊の時にモスクワに留学していた体験も踏まえ、冷戦時代の米ソ両超大国や現在の中国・ロシアの大国主義、具体例として中国の海洋進出、ロシアのクリミア併合、北朝鮮の挑発行為などの世界の動き取り上げ、平和のあり方について、歴史的背景

を含め考える。考察によって、「対立激化から緊張緩和へ」が重要であり、軍事攻撃的威嚇以外のすべての手段を用いることが平和の方策となることを明らかにしたい。

以上の趣旨説明の後、第1回の講義は、講義題目「中国・ロシアなどの地域大国主義と平和を考える」で次を解説した。

- ①冷戦終結に伴う各地域に対する米ソのコントロールの消滅と多極化とは何か
- ②中東・インド半島・東アジア・旧ソ連圏の各地域における地域大国主義とは何か
- ③平和と国際政治の関係とは何か
- ④平和の方策とは何か



第2回は、講義題目「ヨーロッパの冷戦と平和を考える」で次を解説した。

- ①冷戦の定義と原因は何か
- ②冷戦はヨーロッパにおいてどのように展開したか
- ③冷戦はヨーロッパにおいてどのように消滅したか

第3回は、講義題目「朝鮮戦争・ベトナム戦争などのアジア熱戦と平和を考える」で次を解説した。

- ①冷戦はアジアにおいてどのように展開したか
- ②冷戦はアジアにおいてどのように消滅したか
- ③平和の配当及び旧ソ連核問題とは何か

第4回は、講義題目「ソ連・ロシアの動きと平和を考える」で次を解説した。

- ①ソ連社会主義と他の社会主義国との対立とは何か
- ②中ソ対立とソ連の東欧軍事介入とは何か
- ③ソ連型社会主義の特徴と残存社会主義とは何か
- ④ロシア・ウクライナ関係と平和を考える

受講者も多く、毎回多くの活発な質問が出された。講師からの回答によってさらに理解が進み、一部議論も成されるなど、有意義に終了することができました。